

## 令和元年度病床機能報告（速報値）について

【内容等】	【頁】
(1) 令和元年度病床機能報告（ <u>県全体</u> における状況）	P 1～3
(2) アンケート結果概要（ <u>田辺医療圏</u> における状況）	P 4～5
(3) 非稼働病床を有する医療機関について ・ 令和元年度病床機能報告より	P 6
(4) 病床機能報告の見直しについて（参考）	P 7

### 【注意】

この資料に掲載している令和元年度病床機能報告に基づく数値（令和元年 7 月 1 日現在の病床数等）は、いずれも標記アンケートの実施時に把握したものです。

確定値ではありませんので、ご注意ください。

# 地域医療構想において定めた「2025年の必要病床数」と現状の病床数について

※速報値※

圏域名	医療機能	【参考】 2013年度の 必要病床数 (床)	【1】 2025年度の 必要病床数 (床)	4年経過 2015年7月1日現在 の病床数(床) ※病床機能報告	【2】 【直近値】 2019年7月1日現在 の病床数(床) ※病床機能報告	【1-2】
和歌山	① 高度急性期	511	588	1,281	1,273	▲ 685
	② 急性期	1,554	1,674	2,793	2,314	▲ 640
	③ 回復期	1,629	1,836	622	953	883
	④ 慢性期	1,080	863	1,377	1,228	▲ 365
	小 計	4,774	4,961	6,272	5,962	▲ 1,001
那 賀	① 高度急性期	43	48	0	0	48
	② 急性期	224	267	483	464	▲ 197
	③ 回復期	207	261	198	256	5
	④ 慢性期	427	385	429	390	▲ 5
	小 計	901	961	1,129	1,110	▲ 149
橋 本	① 高度急性期	63	65	6	10	55
	② 急性期	245	267	498	465	▲ 198
	③ 回復期	292	327	171	186	141
	④ 慢性期	74	78	179	180	▲ 102
	小 計	674	737	866	841	▲ 104
有 田	① 高度急性期	24	0	0	0	0
	② 急性期	137	146	350	219	▲ 73
	③ 回復期	140	148	85	233	▲ 85
	④ 慢性期(特例)	257	201	263	223	▲ 22
	小 計	558	495	698	675	▲ 180
御 坊	① 高度急性期	41	20	4	8	12
	② 急性期	209	210	492	458	▲ 248
	③ 回復期	187	191	97	123	68
	④ 慢性期	255	234	274	279	▲ 45
	小 計	692	655	905	868	▲ 213
田 辺	① 高度急性期	151	120	36	36	84
	② 急性期	397	404	926	731	▲ 327
	③ 回復期	331	340	171	365	▲ 25
	④ 慢性期	384	249	503	411	▲ 162
	小 計	1,263	1,113	1,680	1,543	▲ 430
新 宮	① 高度急性期	48	44	0	0	44
	② 急性期	178	174	559	399	▲ 225
	③ 回復期	212	212	64	110	102
	④ 慢性期	236	154	397	410	▲ 256
	小 計	674	584	1,064	978	▲ 394
県 計	① 高度急性期	881	885	1,327	1,327	▲ 442
	② 急性期	2,944	3,142	6,101	5,050	▲ 1,908
	③ 回復期	2,998	3,315	1,408	2,226	1,089
	④ 慢性期	2,713	2,164	3,422	3,121	▲ 957
	小 計	9,536	9,506	12,614	11,977	▲ 2,471

「病床機能報告」(2019年7月1日現在)による病床数  
(左表の【2】を病院・診療所別としたもの)

区 分		病床数					
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計
和歌山		68					
病院	40	1,273	2,314	953	1,228	194	5,962
有床診療所	28	1,273	2,129	897	1,123	131	5,553
那賀		14					
病院	7		185	56	105	63	409
有床診療所	7		464	256	390		1,110
橋本		9					
病院	4		419	199	371		989
有床診療所	5		45	57	19		121
有田		8					
病院	4	10	465	186	180		841
有床診療所	4	10	447	184	123		764
御坊		5					
病院	5		18	2	57		77
有床診療所	3		219	233	223		675
田辺		13					
病院	5		190	233	204		627
有床診療所	3		29		19		48
新宮		12					
病院	4	8	458	123	279		868
有床診療所	1	8	458	123	261		850
県 計		129					
病院	75	36	731	365	411		1,543
有床診療所	54	36	711	346	373		1,466
県 計		129					
病院	75	36	711	346	373		1,466
有床診療所	54		20	19	38		77
県 計		129					
病院	75		399	110	410	59	978
有床診療所	54		370	110	410	2	892
県 計		129					
病院	75	1,327	5,050	2,226	3,121	253	11,977
有床診療所	54	1,327	4,724	2,092	2,865	133	11,141
県 計		129					
病院	75	326	134	256	120		836
有床診療所	54						

【2】各「小計」においては、①～④の機能に分類されていない「分類なし」病床数を含めているため、単純な①～④合計値とは一致しない。

病床機能報告による病床数について（H30 → R1【速報値】）

令和元年度報告対象医療機関

病院75（前年度比±0） 有床診療所54（前年度比▲5）

1 病院

二次 医療圏	平成30年度病床機能報告（平成30年7月1日現在）（A）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	5,581	1,261	2,196	806	1,175	143
那賀	989		419	199	371	
橋本	764	10	447	184	123	
有田	627		216	207	204	
御坊	850	8	458	123	261	
田辺	1,556	36	793	264	423	40
新宮	892		370	110	410	2
計	11,259	1,315	4,899	1,893	2,967	185

二次 医療圏	令和元年度病床機能報告（令和元年7月1日現在）（B）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	5,553	1,273	2,129	897	1,123	131
那賀	989		419	199	371	
橋本	764	10	447	184	123	
有田	627		190	233	204	
御坊	850	8	458	123	261	
田辺	1,466	36	711	346	373	
新宮	892		370	110	410	2
計	11,141	1,327	4,724	2,092	2,865	133

二次 医療圏	H30→R1の増減（B）－（A）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	▲ 28	12	▲ 67	91	▲ 52	▲ 12
那賀						
橋本						
有田			▲ 26	26		
御坊						
田辺	▲ 90		▲ 82	82	▲ 50	▲ 40
新宮						
計	▲ 118	12	▲ 175	199	▲ 102	▲ 52

2 有床診療所

二次 医療圏	平成30年度病床機能報告（平成30年7月1日現在）（A）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	456		210	56	105	85
那賀	121		45	57	19	
橋本	77		18	2	57	
有田	69		50		19	
御坊	18				18	
田辺	77		12	19	38	8
新宮	86		29	19		38
計	904		364	153	256	131

二次 医療圏	令和元年度病床機能報告（令和元年7月1日現在）（B）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	409		185	56	105	63
那賀	121		45	57	19	
橋本	77		18	2	57	
有田	48		29		19	
御坊	18				18	
田辺	77		20	19	38	
新宮	86		29			57
計	836		326	134	256	120

二次 医療圏	H30→R1の増減（B）－（A）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	▲ 47		▲ 25			▲ 22
那賀						
橋本						
有田	▲ 21		▲ 21			
御坊						
田辺			8			▲ 8
新宮				▲ 19		19
計	▲ 68		▲ 38	▲ 19		▲ 11

3 病院＋有床診療所

※下段の赤字は2025（H37）年の必要病床数

二次 医療圏	平成30年度病床機能報告（平成30年7月1日現在）（A）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	6,037	1,261	2,406	862	1,280	228
	4,961	588	1,674	1,836	863	
那賀	1,110		464	256	390	
	961	48	267	261	385	
橋本	841	10	465	186	180	
	737	65	267	327	78	
有田	696		266	207	223	
	495		146	148	201	
御坊	868	8	458	123	279	
	655	20	210	191	234	
田辺	1,633	36	805	283	461	48
	1,113	120	404	340	249	
新宮	978		399	129	410	40
	584	44	174	212	154	
計	12,163	1,315	5,263	2,046	3,223	316
	9,506	885	3,142	3,315	2,164	

二次 医療圏	令和元年度病床機能報告（令和元年7月1日現在）（B）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	5,962	1,273	2,314	953	1,228	194
	4,961	588	1,674	1,836	863	
那賀	1,110		464	256	390	
	961	48	267	261	385	
橋本	841	10	465	186	180	
	737	65	267	327	78	
有田	675		219	233	223	
	495		146	148	201	
御坊	868	8	458	123	279	
	655	20	210	191	234	
田辺	1,543	36	731	365	411	
	1,113	120	404	340	249	
新宮	978		399	110	410	59
	584	44	174	212	154	
計	11,977	1,327	5,050	2,226	3,121	253
	9,506	885	3,142	3,315	2,164	

二次 医療圏	H30→R1の増減（B）－（A）					
	病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
和歌山	▲ 75	12	▲ 92	91	▲ 52	▲ 34
那賀						
橋本						
有田	▲ 21		▲ 47	26		
御坊						
田辺	▲ 90		▲ 74	82	▲ 50	▲ 48
新宮				▲ 19		19
計	▲ 186	12	▲ 213	180	▲ 102	▲ 63

# 「2025年の必要病床数」と現状の病床数(棒グラフによる比較)



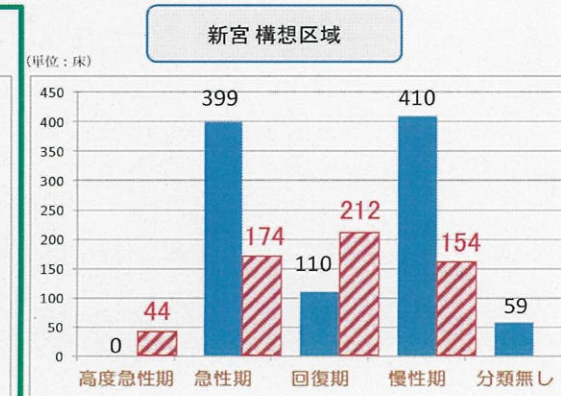
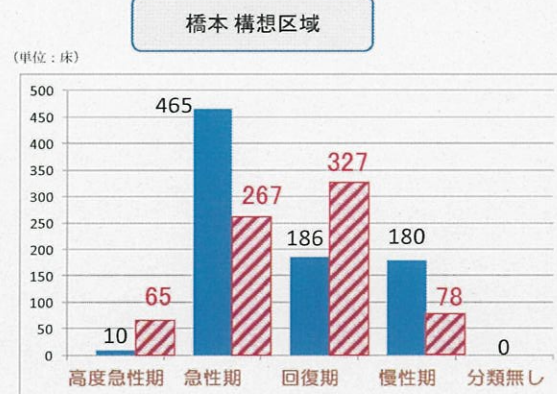
## 棒グラフ凡例

2025年の必要病床数

現状 (令和元年) の病床数

※※ 速報値 ※※

(※) 現状の病床数は、病床機能報告 (令和元年7月1日現在) より



# 各医療機関が将来担っていく方向性について【病院分】 (R1. 12月県医務課実施 アンケート調査による)

〔A〕高度急性期・急性期（救急） 〔B〕地域密着型協力病院 〔C〕（主として）療養病床 〔D〕（主として）介護医療院  
〔E〕特殊な機能（産科・透析等） 〔F〕その他ケアミックス型

医療機関名	令和元年7月1日時点の病床数等										
	病床数小計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟 →再開	休棟 →廃止	救急 告示	地域 密着	救急車 受入件数	医師数 計(人)
紀南病院	352	14	288	50				○		2,306	90.2
南和歌山医療センター	316	22	248	46				○		3,527	52.2
田辺中央病院	139		93	46				○	○	439	12.8
玉置病院	66		34		32					4	6.4
白浜はまゆう病院	258		82	76	100			○	○	1,096	21.3
白浜小南病院	199			22	177			○		0	3.4
南紀医療福祉センター	64				64					0	7.3
国保ささみ病院	72			72				○		142	5.5
田辺圏域の病院 小計	1,466	36	745	312	373	0	0	6	2	7,514	199.1

2025年の許可病床数（予定）									
病床数小計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	廃止	介護医 療院等		
352	51	251	50						
316	62	208	46						
139		93	46						
66		34		32					
210		82	80	48			48		
169			22	147		30			
64				64					
38			25						
1,354	113	668	269	291	0	30	48		

目指す方向性（病院意向）						医療機関名
A	B	C	D	E	F	
○						紀南病院
○						南和歌山医療センター
	○					田辺中央病院
			○			玉置病院
	○					白浜はまゆう病院
		○				白浜小南病院
				○		南紀医療福祉センター
○	○					国保ささみ病院
3	3	1	1	1	0	田辺圏域の病院 小計

県計（病院）	11,141	1,327	4,724	2,092	2,865	133	0	47,990	1,783
--------	--------	-------	-------	-------	-------	-----	---	--------	-------

10,449	1,406	4,303	2,310	2,430	0	30	193	19	33	12	3	11	6	県計（病院）
--------	-------	-------	-------	-------	---	----	-----	----	----	----	---	----	---	--------

県計（病院＋有床診療所）	12,045	1,327	5,068	2,245	3,121	235	29
--------------	--------	-------	-------	-------	-------	-----	----

11,281	1,406	4,637	2,480	2,667	91	100	193
--------	-------	-------	-------	-------	----	-----	-----

県計（病院＋有床診療所）
--------------

【データ出典】令和元年度病床機能報告による  
・病床数は、令和元年7月1日時点の病床数（医療機能別）  
・救急搬送件数は、1年間（平成30年7月1日～令和元年6月30日）における救急車受入件数

# 各医療機関が将来担っていく方向性について【有床診療所分】 (R1. 12月県医務課実施 アンケート調査による)

- 【a】病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能    【b】専門医療を担う機能（産科、透析 など）  
【c】救急に対応する機能    【d】在宅医療の拠点としての機能    【e】人生最終段階における医療（終末期医療）を担う機能    【f】いずれの機能にも該当しない

医療機関名	令和元年度 病床機能報告による病床数等						
	病床数小計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟 →再開	休棟 →廃止
外科内科辻医院	19			19			
真寿苑クリニック	19				19		
辻村外科	19				19		
榎本産婦人科	12		12				
辻内科医院	8					8	
田辺医療圏の有床診療 小計	77	0	12	19	38	8	0

2025年の許可病床数（予定）								
病床数小計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	廃止	介護医療院等	
19			19					
19				19				
19				19				
12		12						
8		8						
77	0	20	19	38	0	0	0	0

方向性（病床の担う役割）								方向性（モデル）			医療機関名
a	b	c	d	e	f	○の数		ア	イ	ウ	
○			○	○				○			外科内科辻医院
			○	○				○			真寿苑クリニック
○			○	○				○			辻村外科
	○								○		榎本産婦人科
	○								○		辻内科医院
2	2	0	3	3	0	0		3	2	0	田辺医療圏の有床診療 小計

県計（有床診療所）	850	0	326	134	256	22	112
県計（病院＋有床診療所）	12,163	1,315	5,263	2,009	3,200	287	29

679	0	259	165	237	18	0	0
11,668	1,337	5,182	2,349	2,667	133	235	238

25	27	16	18	19	7	112	16	21	8	県計（有床診療所）
										県計（病院＋有床診療所）

【データ出典】令和元年度病床機能報告による  
・病床数は、令和元年7月1日時点の病床数（医療機能別）  
・救急搬送件数は、1年間（平成30年7月1日～令和元年6月30日）における救急車受入件数

目指す方向性（有床診療所モデル）

- 【ア】地域包括ケアモデル（医療・介護併用モデル）    【イ】専門医療提供モデル  
【ウ】上記【ア】【イ】両方に該当

# 非稼働病床を有する医療機関(出典:令和元年度病床機能報告)

※※ 速報値 ※※

※ 該当医療機関のみ、下表中に列挙しています ※

(単位: 床)

圏域名	病院＋有床診		病 院		有床診療所			
	病床数	うち非稼働	病床数	うち非稼働	病床数	うち非稼働		
県計	11,977	694	11,141	536	836	158		
和歌山圏域	5,962	353	和歌山圏域(病院)小計	5,553	279	和歌山圏域(有床診)小計	409	74
和歌山市内	5,404	342	和歌山市内(病院)小計	5,056	273	和歌山市内(有床診)小計	348	69
			日本赤十字社和歌山医療センター	865	159	オリオン	19	14
			和歌山県立医科大学附属病院	760	2	青木整形外科	19	19
			中谷病院	195	1	はまだ産婦人科	19	6
			和歌浦中央病院	165	11	綿貫第二クリニック	19	3
			堀口記念病院	150	8	岩橋産婦人科	11	2
			西和歌山病院	120	11	かわばた産婦人科	8	8
			浜病院	115	25	眼科松本クリニック	5	5
			誠佑記念病院	110	26	タナカ眼科	4	4
			河西田村病院	108	1	吹上クリニック	4	4
			琴の浦リハビリテーションセンター付属病院	108	9	医療法人塩崎医院	4	4
			伏虎リハビリテーション病院	89	6			
			瀬藤病院	80	4			
			嶋病院	57	8			
			上山病院	56	2			
海南市・紀美野町内分	558	11	海南市・紀美野町内(病院)小計	497	6	海南市・紀美野町内(有床診)小計	61	5
			国保野上厚生総合病院	154	1	西本内科外科医院	19	5
			谷口病院	43	5			
那賀圏域	1,110	60	那賀圏域(病院)小計	989	49	那賀圏域(有床診)小計	121	11
			公立那賀病院	300	3	やよいメディカルクリニック	19	2
			富田病院	156	9	奥クリニック	19	1
			殿田胃腸肛門病院	59	37	長雄整形外科	19	8
橋本圏域	841	24	橋本圏域(病院)小計	764	24	橋本圏域(有床診)小計	77	0
			紀和病院	280	1	該当医療機関無し		
			和歌山県立医科大学附属病院紀北分院	100	22			
			山本病院	84	1			
有田圏域	675	28	有田圏域(病院)小計	627	13	有田圏域(有床診)小計	48	15
			有田市立病院	153	8	橋本胃腸肛門外科	19	15
			西岡病院	120	5			
御坊圏域	868	9	御坊圏域(病院)小計	850	2	御坊圏域(有床診)小計	18	7
			ひだか病院	273	1	紀伊クリニック	18	7
			整形外科北裏病院	100	1			
田辺圏域	1,543	134	田辺圏域(病院)小計	1,466	126	田辺圏域(有床診)小計	77	8
			白浜小南病院	199	39	辻内科医院	8	8
			田辺中央病院	139	33			
			国保すさみ病院	72	33			
			玉置病院	66	21			
新宮圏域	978	86	新宮圏域(病院)小計	892	43	新宮圏域(有床診)小計	86	43
			串本有田病院	174	20	要外科内科医院	19	19
			くしもと町立病院	130	18	坂野医院	19	19
			那智勝浦町立温泉病院	120	3	玉置整形外科医院	19	5
			潮岬病院	2	2			

非稼働病床＝許可病床数－過去1年間に最も多く患者を収容した時点で使用した病床数

※入院料等の届出のない病床数を含む。

## 病床機能報告の見直しについて

「第19回地域医療構想に関するWG」（平成31年2月22日）において、厚生労働省から報告項目等の見直しに向けた論点（案）が示された。その3点については下記のとおり。

### 報告項目について

#### ○論点1

機能転換やダウンサイジングに関する意思決定の重要な契機となる「病棟の建替時期」の目安を地域で共有できるよう、「病棟ごとの築年数」を報告項目として追加済（任意回答扱い）。

#### ○論点2

「稼働病床数」については、一般的な診療実績指標である「病床利用率」とのギャップが大きい上に、「許可病床数」とほぼ近似していることから、報告項目自体を廃止する。

→令和2年度以降の報告からの廃止を予定。

### 報告対象期間について

#### ○論点3

各医療機関が担っている役割に関する重要な評価指標となる手術等の診療実績について、その報告対象期間を現在の1ヶ月分（6月診療分）から、通年化する。

→令和3年度以降の報告から通年化を予定。